



第7回 ISMSJ 学術集会 サテライトシンポジウムのご案内

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療に口腔内装置をもっと活かすために

口腔内装置 (oral appliance, OA) 治療は睡眠中に下顎を前方に保持することにより気道の閉塞を防ぐことを機序とした治療法であり、現在成人の閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療として CPAP に次ぐ第 2 の選択肢とされている。一般に CPAP にイベント抑制効果は劣るものの、使用感が良く簡便であるため高いコンプライアンスが得られることが知られている。また、日本の保険制度においては 2004 年より OA は保険適応されており、経済的にも患者の負担の軽い治療となっている。OA 治療を成功させるためには医科による診断と歯科による装置の製作・調整が円滑に行われる必要があり、その密な連携が不可欠である。しかしながら日本の診療現場では、この良好な連携関係を構築するための様々な障害があるのが現状である。具体的には、医科と歯科の成り立ち、制度が異なっていることに加え、医科・歯科ともに睡眠医学の卒前・卒後教育体制が不十分であること、また睡眠医療を行っている施設毎の考え方・方針の違い、双方のコミュニケーション不足などが課題として挙げられる。また、これらの疑問や不安が解決していないこともこの治療が積極的に検討されていない原因のひとつになっていると考えられる。

本シンポジウムでは、OA 治療に携わる様々な職種より演者を迎え、前半に医科・歯科のそれぞれの立場から見た OA 治療のエビデンスおよび、情報交換を行っていくうえで重要となる検査の一般的・学問的な知識を紹介し、後半に実際 OA 治療を行っている臨床の現場で生じてくるトラブルや疑問を提示することにより OA 治療に関わる様々な職種が総合的にどのように関わっていくべきかを考え、議論する機会としたい。

【企画責任者】 加藤 隆史 (大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座口腔解剖学第二教室)

日時 2015 年 8 月 2 日 (日曜日) 9:30~12:30

会場 梅田スカイビルタワーウエスト 36 階 R

定員 160 名 (予定)

対象 睡眠関連疾患の総合診療 (スリープヘルスの増進も含めて) に興味のある医師、歯科医師、看護師、保健師、臨床検査技師、心理士、睡眠研究者、睡眠相談員

参加費 第 7 回 ISMSJ 学術集会参加者：無料
(名札を提示してください)
サテライトセミナーのみ参加：3,000 円 (予定)

後援 一般社団法人 大阪府歯科医師会

協賛 ソムノメッドジャパン株式会社
フクダライフテック関西株式会社

プログラム

9:30~ 9:35 挨拶・オリエンテーション

9:35~10:00

1.OSAS の病態及び診断治療の流れと歯科の位置づけ
スタンフォード大学睡眠医学センター 河合 真

10:00~10:25

2.OA 治療に際して共有すべき検査の知識と注意点
大阪大学医学部附属病院 睡眠医療センター 野々上 茂

10:25~10:50

3.OA 治療のエビデンスと歯科における臨床の流れ
九州大学病院 口腔総合診療科 津田 緩子

10:50~11:05 休憩

11:05~11:25

4.OA 治療の実際と開業歯科医師が OA を依頼されて戸惑うこと
市立四日市病院 歯科口腔外科 山本 知由

11:25~11:45

5. 医師が OA を選択する理由
関西電力病院 神経内科・睡眠関連疾患センター 谷口 浩一郎

11:45~12:05

6.OA 治療で求められる医科・歯科のコミュニケーション
ささお歯科クリニック 口腔機能センター 佐々生 康宏

12:05~12:30 総合討論

第7回 ISMSJ 学術集会
参加者は無料
(名札を提示して下さい)

事前登録が必要です

事前登録の用紙は、
<http://www.conet-cap.jp/ismsj7th>
からダウンロードしてお申込み下さい。

問い合わせ先

大阪市淀川区西宮原 1-8-29 テラサキ第 2 ビル 8F 第 7 回 ISMSJ 学術集会事務局

TEL:06-6398-5745

FAX:06-6398-5746

E-mail: ismsj@conet-cap.jp